

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000120		
法人名	(株)ライフコンプリート		
事業所名	グループホーム紀水苑 やま かわ		
所在地	佐賀市東与賀町飯盛244-1		
自己評価作成日	平成30年1月23日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成30年2月15日	外部評価確定日	平成30年5月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>地域の中で健やかで、心豊かに、自分らしくを理念として家庭的な雰囲気の中毎日の家事等を入居者の個々の能力に応じ役割を持つことで日々の訓練となっています。入居者、家族本位を基本に出来ることは自分で出来るよう支援をしています。また、やま棟、かわ棟の皆さんが触れ合える時間を持ち、日常生活でメリハリをもち楽しみと笑いを多く持てるように努めています。毎月の誕生会やカラオケ、花見や地域でしめ縄づくり、カフェに外出したり地域社会と触れ合う機会を持つようにしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>(株)ライフコンプリートは地域住民の『ぴんぴんころり』を目指し、一般の高齢者へ社会貢献を意識してプールを開設された施設である。併設するグループホーム紀水苑「やま かわ」は、認知症の方が笑って過ごせる場所を提供したいとの思いで平成12年4月に開設した。17年間その思いが引き継がれ「地域の中で健やかで、心豊かに、自分らしく」を理念に掲げ、利用者の尊厳を大切にしてきたホームである。目標にしていることは、利用者それぞれの持てる力に応じて、できることをしてもらうこと。職員と一緒に家事や草むしり作業等、楽しみながら体を動かすことが日中のイキイキとした表情及び夜間の睡眠に良い効果をもたらしている。その他にも地域への外出や行事参加等利用者が笑顔で暮らせる毎日を提供したいと職員一同頑張っているホームである。</p>
--

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	苑内の目につく場所に理念を掲示し職員全員で共有している。またミーティングや申し送りノートを活用し、常に話し合いの場を作り、理念に沿ったケアの取り組みを日々心がけよう努力している。	苑内の目につく場所に理念を掲示し職員全員で共有している。またミーティングや申し送りノートを活用し、常に話し合いの場を作り、理念に沿ったケアの取り組みを日々心がけよう努力している。	毎年理念に沿った具体的な運営計画を作成し、年間通して実践し、年度末に評価をしている。ケアプラン作成時にも、理念を顧み、本人らしい暮らしが出来るよう支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎回、回覧板を回してもらい息の活動を把握出来ているが中々外出までは繋がっていない。紀水苑夏祭りでは地域の方々沢山の来苑があるのでグループホームも参加している。	毎回、回覧板を回してもらい息の活動を把握出来ているが中々外出までは繋がっていない。紀水苑夏祭りでは地域の方々沢山の来苑があるのでグループホームも参加している。	自治会に加入し、日常的に地域の人と触れ合う機会を持つように心がけている。神社へ散歩に出かけ挨拶を交わしたり、近隣住民の方から紅葉狩りや花見に誘われることもある。しめ縄づくりを見学したり、おたっしや本舗(市)が主催する認知症カフェへも出かけている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	来苑していただき入居者様との交流やふれあいの中で、少しでも認知症の理解をしてもらう機会をつくるよう努めている。ご家族より認知症の相談を受けたりしている。	来苑していただき入居者様との交流やふれあいの中で、少しでも認知症の理解をしてもらう機会をつくるよう努めている。ご家族より認知症の相談を受けたりしている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、地区の自治会長・民生委員・家族の代表・地域包括支援センターの方々に参加いただき、情報や意見交換、防災訓練や敬老会等の行事にも参加していただき、意見、評価、助言を受けながら、運営やサービスの改善に努めている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、地区の自治会長・民生委員・家族の代表・地域包括支援センターの方々に参加いただき、情報や意見交換、防災訓練や敬老会等の行事にも参加していただき、意見、評価、助言を受けながら、運営やサービスの改善に努めている。	関係者に案内し、定期的に運営推進会議を開催している。ホームからは現状報告、活動報告の他事故報告や外部評価についても説明している。自治会長や民生委員の参加があり、地域の情報を得て、地域交流に繋がっている。また、出席者に災害時の避難訓練に参加してもらい、意見や評価を受けるなど有意義な会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの担当者の方には毎回運営推進会議に出席していただき、意見や評価を受けている。入居状況、空床状況を報告し、入居の紹介を受けたりしている。	地域包括支援センターの担当者の方には毎回運営推進会議に出席していただき、意見や評価を受けている。入居状況、空床状況を報告し、入居の紹介を受けたりしている。	佐賀中部広域連合より研修会の案内があり、参加している。また、空き情報を伝えたり、介護保険法の改正時や介護計画についての相談など、積極的に連絡を取っている。学生の就業体験や看護や介護の実習を受け入れている。事業所の勉強会に講師として来てもらうこともある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部での研修会に参加したり、苑内では定期的に勉強会も実施し身体拘束について理解し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に苑内を移動できるようにしており施錠しないケアに努めている。また拘束しないケアの掲示を苑内にし職員が常に意識するようにしている。	外部での研修会に参加したり、苑内では定期的に勉強会も実施し身体拘束について理解し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に苑内を移動できるようにしており施錠しないケアに努めている。また拘束しないケアの掲示を苑内にし職員が常に意識するようにしている。	外部講師を招いての研修会や、市の担当者から来てもらい勉強会を定期的に開催している。職員は身体拘束の弊害を理解し、拘束のないケアを実践している。居室や玄関にセンサーを設置するなど鍵をかけずに見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部での研修会に参加したり、苑内では定期的に勉強会も実施し、職員に虐待防止の徹底を行っている。苑内にも掲示し常に意識したケアに努めている。	外部での研修会に参加したり、苑内では定期的に勉強会も実施し、職員に虐待防止の徹底を行っている。苑内にも掲示し常に意識したケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に勉強会の場を作り、学んでいる。	定期的に勉強会の場を作り、学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族に十分な内容説明を行い、理解・納得していただいた上で書面にて、契約・解除・改訂等の手続きを行っている。また、改善があった場合も内容説明し書面にて承諾をもらっている。	ご家族に十分な内容説明を行い、理解・納得していただいた上で書面にて、契約・解除・改訂等の手続きを行っている。また、改善があった場合も内容説明し書面にて承諾をもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の方々の声はいつでも聴き、運営に反映させている。また、ご家族の意見・要望は来苑時に聞いたり、家族会や介護計画書の説明時にも必ず伺うようにし、運営やケアの改善に努めている。	入居者の方々の声はいつでも聴き、運営に反映させている。また、ご家族の意見・要望は来苑時に聞いたり、家族会や介護計画書の説明時にも必ず伺うようにし、運営やケアの改善に努めている。	家族の面会時には、本人交え、近況報告をしている。笑顔での対応を心掛け、意見や思いを言いやすい雰囲気となるよう配慮している。ホームは利用者、家族本位を基本と考えており、その実践をすることで関係の構築に繋がっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回、職員のミーティングを開催し、定期的な発言の場を設けている。また意見・提案等あれば随時出すよう声をかけている。意見・提案には早急に対応、反映するように取り組んでいる。	月1回、職員のミーティングを開催し、定期的な発言の場を設けている。また意見・提案等あれば随時出すよう声をかけている。意見・提案には早急に対応、反映するように取り組んでいる。	職員は互いに運営や業務の改善に前向きであり、管理者の人柄と相まって意見が言いやすい関係ができています。業務に関する質問やケア内容についての意見が多く、職員が共有する申し送りノートを活用している。半年に1回個別に面談をして、相談を受けている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の貢献度、勤務状況等に関する自己評価・上司評価・上司との面接を年2回実施し、評価に応じ賞与・昇給等に反映している。パート職員に対しても年1回、上司評価を実施し昇給に反映している。また、勤務や休暇の希望等に対応できる体制の整備に努めている。	職員個々の貢献度、勤務状況等に関する自己評価・上司評価・上司との面接を年2回実施し、評価に応じ賞与・昇給等に反映している。パート職員に対しても年1回、上司評価を実施し昇給に反映している。また、勤務や休暇の希望等に対応できる体制の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部の勉強会だけでなく、フランチャイズ全体の勉強会への参加、外部の研修会では参加費の補助の体制もあり、積極的に薦めている。	内部の勉強会だけでなく、フランチャイズ全体の勉強会への参加、外部の研修会では参加費の補助の体制もあり、積極的に薦めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームとの勉強会を実施している。また、年1回交流研修として、1日他のグループホームで勤務し、情報交換の場を作り、サービスの内容や質を見直すきっかけとなっている。	他のグループホームとの勉強会を実施している。また、年1回交流研修として、1日他のグループホームで勤務し、情報交換の場を作り、サービスの内容や質を見直すきっかけとなっている。		

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に必ずご本人に面会し、ご本人の気持ちを受容し、共感しながら困っていること・不安なこと・要望等を聞き、日課等継続できることは続けていけるように努めている。	入居前に必ずご本人に面会し、ご本人の気持ちを受容し、共感しながら困っていること・不安なこと・要望等を聞き、日課等継続できることは続けていけるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に必ずご家族に面会し、ご家族の困っていること、大変なことについて話を聞き、精神的に安心して貰える関わりに努め、希望や要望を受け止め、可能な限りできる対応で信頼していただけるように努めている。	入居前に必ずご家族に面会し、ご家族の困っていること、大変なことについて話を聞き、精神的に安心して貰える関わりに努め、希望や要望を受け止め、可能な限りできる対応で信頼していただけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状態や家族の要望を聞いた後、本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い同意を得ている。訪問診療等他のサービス利用も行っている。	本人の状態や家族の要望を聞いた後、本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い同意を得ている。訪問診療等他のサービス利用も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の得意なこと、できることや希望を把握し、できる方には自分のことは自分でしていただき、できない方の分まで協力してもらえようように声をかけ、各自が役割を持って意欲的に、共同生活が過ごせるように取り組んでいる。手伝っていただいたことには感謝の言葉を述べて共同の関係作りをしている。	本人の得意なこと、できることや希望を把握し、できる方には自分のことは自分でしていただき、できない方の分まで協力してもらえようように声をかけ、各自が役割を持って意欲的に、共同生活が過ごせるように取り組んでいる。手伝っていただいたことには感謝の言葉を述べて共同の関係作りをしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自由に来苑できるように時間の制限は作らず、いつでも気軽に立ち寄れるような雰囲気作りをしている。体調の悪い時や状況によっては希望で自室に泊まることもでき、ご本人とご家族と過ごせる場作りをし、話し合いの機会を持ち、意見や要望を聞いて取り組みに反映している。	自由に来苑できるように時間の制限は作らず、いつでも気軽に立ち寄れるような雰囲気作りをしている。体調の悪い時や状況によっては希望で自室に泊まることもでき、ご本人とご家族と過ごせる場作りをし、話し合いの機会を持ち、意見や要望を聞いて取り組みに反映している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・親戚・友人・知人の方がいつでも気軽に面会に来てもらえるよう声をかけている。また、ご家族との外出も自由にでき、外食や法事、お墓参り等行かれ自宅で昼食を摂られる方もいる。	家族・親戚・友人・知人の方がいつでも気軽に面会に来てもらえるよう声をかけている。また、ご家族との外出も自由にでき、外食や法事、お墓参り等行かれ自宅で昼食を摂られる方もいる。	花見ドライブ等外出時には、出身地や自宅前を通ったり、会社が運営する通所施設での面会に同行するなど、希望を聞きながら支援している。親しい人の告別式に参列するなど地域での暮らしが継続できる支援にも努めている。美容院や墓参りなどは家族の協力を受けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を充分に把握し、座る位置関係にも工夫を行い、孤立しないよう仲を取り持ちよい関係が構築できるよう支援している。	利用者同士の関係を充分に把握し、座る位置関係にも工夫を行い、孤立しないよう仲を取り持ちよい関係が構築できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	体制はできているが長期入院や～死亡されるケースのみにて相談、支援ができる体制作りにも努めている。	体制はできているが長期入院や～死亡されるケースのみにて相談、支援ができる体制作りにも努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族からの情報やご本人と話をし、少しでも希望・要望が把握できる工夫をしている。意思表示の出来る方、出来ない方、各自の希望や思いをうけとめれるように、話し合いの場で共有し本人本位の実現に向け努力している。	ご家族からの情報やご本人と話をし、少しでも希望・要望が把握できる工夫をしている。意思表示の出来る方、出来ない方、各自の希望や思いをうけとめれるように、話し合いの場で共有し本人本位の実現に向け努力している。	昼食時やおやつの時間など、ゆっくりできる機会を設け、したいこと、食べたいもの、思いを聞いている。職員を担当制にしている為相談しやすく、馴染みの関係づくりに努めている。情報はミーティングや朝の申し送りでも共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活歴や環境希望を教えてください、ご本人の意向に沿うことが出来るように努めている。全職員が情報を共有できるよう本人本位の生活を支援している。	入居前の生活歴や環境希望を教えてください、ご本人の意向に沿うことが出来るように努めている。全職員が情報を共有できるよう本人本位の生活を支援している。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で、できること、できないことを見極め、できることはしていただき、更に本人の能力や可能性をみつけ、できることが増えるように職員で情報を共有し支援に努めている。	日々の関わりの中で、できること、できないことを見極め、できることはしていただき、更に本人の能力や可能性をみつけ、できることが増えるように職員で情報を共有し支援に努めている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者の方の身体的、精神的状況の把握、家族の希望・要望を聞き課題分析し、本人・家族の意向が反映されるように、チームで話し合いながら介護計画を作成している。モニタリングを行い次の計画に生かしている。入院や状態の変化に応じその都度計画の見直しを行っている。計画は本人・家族の同意をもらい全員で共有している。	入居者の方の身体的、精神的状況の把握、家族の希望・要望を聞き課題分析し、本人・家族の意向が反映されるように、チームで話し合いながら介護計画を作成している。モニタリングを行い次の計画に生かしている。入院や状態の変化に応じその都度計画の見直しを行っている。計画は本人・家族の同意をもらい全員で共有している。	本人と一番馴染みのある担当者が、アセスメントし、ケアプランの案を作成している。家族の意向や希望を聞き、ケアマネジャーと検討することでプランが決定される。利用者の視点に立った、本人らしさが窺える計画が作成されている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各自のバイタル・食事・水分量・排泄・運動レク・外出や体調の変化等、日々の様子を毎日経過記録に記載し、変化や気づきを職員間で共有できるようにしている。改善すべき点や本人の状況に応じ介護計画の見直しをしている。	各自のバイタル・食事・水分量・排泄・運動レク・外出や体調の変化等、日々の様子を毎日経過記録に記載し、変化や気づきを職員間で共有できるようにしている。改善すべき点や本人の状況に応じ介護計画の見直しをしている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の中で利用者のニーズを聞き出して散髪やカラオケをしたり、家族の状況に合わせてニーズに柔軟に対応できるように努めている	日々の生活の中で利用者のニーズを聞き出して散髪やカラオケをしたり、家族の状況に合わせてニーズに柔軟に対応できるように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中学校の慰問や看護学生の実習を受け入れたり、しめ縄つくりに行ったりと地域資源を活用し、個々の力を発揮出来よう支援している	地域の中学校の慰問や看護学生の実習を受け入れたり、しめ縄つくりに行ったりと地域資源を活用し、個々の力を発揮出来よう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族との話し合いを行い、本人にとって適切な医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の定期的な訪問診療を受けたり、緊急時や体調の変化に応じ、その都度受診や相談・助言を受けている。本人の状態に応じ、専門医等の受診・訪問診療を家族と相談しながら行っている。	家族との話し合いを行い、本人にとって適切な医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の定期的な訪問診療を受けたり、緊急時や体調の変化に応じ、その都度受診や相談・助言を受けている。本人の状態に応じ、専門医等の受診・訪問診療を家族と相談しながら行っている。	入居時に、本人や家族が希望される医療機関に受診できることを説明している。協力病院からは月2回の往診があり、24時間医療との連携が出来ることや看護師がホームに配置されていることで、本人や家族の安心につながっている。受診は家族の付き添いを基本としているが、緊急時や無理な場合は職員が対応している。病院へは電話で状態を伝えるなど連携に努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化に対し、看護師に報告、連絡相談を行い指示を受けたり、直接対応してもらっている。症状に応じ、かかりつけ医への相談・調整等もしてもらっている。	体調の変化に対し、看護師に報告、連絡相談を行い指示を受けたり、直接対応してもらっている。症状に応じ、かかりつけ医への相談・調整等もしてもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は情報提供をし、入院中は定期的に面会すると共に家族や医療関係者から情報をもらっている。退院時には病院より情報をもらっている。	入院時は情報提供をし、入院中は定期的に面会すると共に家族や医療関係者から情報をもらっている。退院時には病院より情報をもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にターミナルの指針についても文章をもって家族に説明している。また、入居者の方が重度化された時には、家族と話し合い、意向や希望を確認しながら、医療機関との連携をとり、チームで支援するよう取り組んでいる。	入居時にターミナルの指針についても文章をもって家族に説明している。また、入居者の方が重度化された時には、家族と話し合い、意向や希望を確認しながら、医療機関との連携をとり、チームで支援するよう取り組んでいる。	終末期における看取り介護の指針を作成し家族に説明している。家族の希望を受け今年度は3件の看取りを行った。看護師が配置され、協力病院から夜間の往診をしてもらうことで、家族、また職員にとってもありがたい。終末における揺れる家族の思いに寄り添いながら、段階に応じて話し合いを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、消防署主催の救命救急講習を受講している。また急変時や事故発生時等の連絡体制を掲示し、勉強会も実施している。	毎年、消防署主催の救命救急講習を受講している。また急変時や事故発生時等の連絡体制を掲示し、勉強会も実施している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回夜間を想定した火災訓練を実施していて、一回は消防署立会で通報訓練、緊急連絡連絡先の確認を行い、近隣の方に声をかけたり家族の方にも参加をして頂き評価や提案、指導を受け改善に取り組んでいる	年二回夜間を想定した火災訓練を実施していて、一回は消防署立会で通報訓練、緊急連絡連絡先の確認を行い、近隣の方に声をかけたり家族の方にも参加をして頂き評価や提案、指導を受け改善に取り組んでいる	定期的に消防署の指導を受けながら、災害時の避難訓練を実施している。地域消防団にホームの巡視をしてもらう等災害時の協力体制が確立している。自治会長宅へ緊急通報システムを導入し、かけつけてもらったり、運営推進会議の中で避難訓練に参加してもらうなど地域との協力体制を築いている。	
確率している。						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重やプライバシー保護の勉強会を行っており、入居者の一人一人に合った対応に心がけ、人格を損ねないようケアを行っている。	人格の尊重やプライバシー保護の勉強会を行っており、入居者の一人一人に合った対応に心がけ、人格を損ねないようケアを行っている。	ホームは長年、本人や家族本位という視点を基本としてきた。その思いを職員の育成につなげ、人格を尊重したケアを実践している。接遇の外部研修へ参加したり、ホームでもグループワークを通して職員の意見を反映させたケアを実施している。日常のケアの中で、管理者が誘導方法や言葉遣いについて指導することもある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の各場面において、本人が選択できるような言葉かけに努めており、衣類を選んでもらったり、歌やレクリエーションの内容を決めてもらったりと、自由に希望を言ってもらえるよう配慮している。	日常生活の各場面において、本人が選択できるような言葉かけに努めており、衣類を選んでもらったり、歌やレクリエーションの内容を決めてもらったりと、自由に希望を言ってもらえるよう配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本の一日の流れはあるものの、ホールや自室、またソファアでの休息等、個々の希望に沿った生活の支援をしている。	基本の一日の流れはあるものの、ホールや自室、またソファアでの休息等、個々の希望に沿った生活の支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	二か月に一回、美容師の方に散髪に来苑していただきその方に合った髪形にしてもらっている。本人の希望を聞き洋服選びやひげそり・爪切り等の支援をしている。	二か月に一回、美容師の方に散髪に来苑していただきその方に合った髪形にしてもらっている。本人の希望を聞き洋服選びやひげそり・爪切り等の支援をしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者・職員が同じテーブルを囲み家族のような雰囲気を作りをして楽しんで食事ができている。個々の力を把握し片付けや準備を行っている。	食事は入居者・職員が同じテーブルを囲み家族のような雰囲気を作りをして楽しんで食事ができている。個々の力を把握し片付けや準備を行っている。	同会社の厨房で、一括した料理を提供しているので日頃は、利用者と一緒に料理をする機会がないが、行事に料理の日を計画し、希望のメニューを取り入れ下拵えを手伝ってもらっている。「できることをしてもらおう」ことを視点に入れ、生活歴をアセスメントし、活用しながらケアプランにもあげ実践している。職員も同じ食卓でおしゃべりしながらゆっくり時間をとり楽しい雰囲気作りを大切にしている。刻みや流動等体調や咀嚼機能に合わせ食事形態を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量と摂取量を把握できるように記録している。粥食やミキサー食・刻み食等個々に応じた食事を用意している。出来るだけ自分で食べれるように声かけをしたり一部介助を行い日常的に確保できるよう支援している	一日の水分量と摂取量を把握できるように記録している。粥食やミキサー食・刻み食等個々に応じた食事を用意している。出来るだけ自分で食べれるように声かけをしたり一部介助を行い日常的に確保できるよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人に口腔ケアを呼び掛けている。夜間は義歯を預かり義歯洗浄剤にて洗浄している。口腔ケアの出来る方には自分でしてもらい必要に応じて介助、舌磨きの支援もしている。また訪問歯科診療で個別のケアの指導をうけている。	毎食後、一人一人に口腔ケアを呼び掛けている。夜間は義歯を預かり義歯洗浄剤にて洗浄している。口腔ケアの出来る方には自分でしてもらい必要に応じて介助、舌磨きの支援もしている。また訪問歯科診療で個別のケアの指導をうけている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄状況を記録し、排尿間隔をみて声掛けや誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を支援し、自立に向けての取り組みを行っている。	一人一人の排泄状況を記録し、排尿間隔をみて声掛けや誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を支援し、自立に向けての取り組みを行っている。	排泄ケアについては自立支援の視点でホームが特に力を入れている。個別のチェック表を基にトイレでの排泄を支援している。トイレ誘導により立位が可能になった事例もあり、排泄のみでなく下肢筋力の向上につながり、職員もやりがいを感じている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に水分摂取や体操等に取り組んでいる。排便状態を記録し、看護師へ相談、助言を受け早めの対応ができるように努めている。	便秘予防に水分摂取や体操等に取り組んでいる。排便状態を記録し、看護師へ相談、助言を受け早めの対応ができるように努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に二日に一回の入浴である。曜日や時間帯はある程度決まっているが、その方々に応じて対応している。入浴を嫌がられる方には時間を置いての再度の声掛けやシャワー浴、清拭対応する等配慮している。体調が悪い方は状態をみて全身清拭、更衣の支援をしている。	基本的に二日に一回の入浴である。曜日や時間帯はある程度決まっているが、その方々に応じて対応している。入浴を嫌がられる方には時間を置いての再度の声掛けやシャワー浴、清拭対応する等配慮している。体調が悪い方は状態をみて全身清拭、更衣の支援をしている。	入浴は隔日と決めてはいるが、利用者の希望により臨機応変に支援している。一日のメリハリをつける意味でもなるべく入っていただくようにしている。入らない日は足浴で清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温・湿度・照明、寝具の清潔にも気を配っている。寝具類は週一回(汚れた時はその都度)交換している。昼間でも希望があれば自室にて休んでいただいたり就寝時間も決まっておらず、安心して眠れるよう支援している。	室温・湿度・照明、寝具の清潔にも気を配っている。寝具類は週一回(汚れた時はその都度)交換している。昼間でも希望があれば自室にて休んでいただいたり就寝時間も決まっておらず、安心して眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示により看護師の管理のもと一人一人の薬の内容や用法・容量について職員が理解し、確実な服薬、状態の変化の観察に努めている。	医師の指示により看護師の管理のもと一人一人の薬の内容や用法・容量について職員が理解し、確実な服薬、状態の変化の観察に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴を聞き、興味のある事の情報収集をし役割や楽しみ事がつづけられ、張り合いのある生活を送れるよう支援している	入居時に生活歴を聞き、興味のある事の情報収集をし役割や楽しみ事がつづけられ、張り合いのある生活を送れるよう支援している		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA()	自己評価／ユニットB()	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	戸外に行きたいと希望がある時はなるべく意向に沿うように支援している。桜やコスモス、初詣などバスハイクや近所の神社へ行ったりしている。時には家族と外出される方もいる。	戸外に行きたいと希望がある時はなるべく意向に沿うように支援している。桜やコスモス、初詣などバスハイクや近所の神社へ行ったりしている。時には家族と外出される方もいる。	季節に応じて、車椅子の方にも出来るだけ散歩に出かけている。近所の神社へ行き挨拶を交わしたり、花見や初詣等ドライブも楽しみにさせている。個別の墓参りなどは家族の協力を得ている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持は原則として行っていない。買い物支援等必要時ははご家族に了解していただき立て替え、後日請求している。	金銭の所持は原則として行っていない。買い物支援等必要時ははご家族に了解していただき立て替え、後日請求している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人へ年賀状等出されるか確認し、出される場合は宛名などご家族に協力していただき発送している。また、ご本人さんが希望された時や電話がかかってきた時は、何時でも繋げる体制を取っている。	ご本人へ年賀状等出されるか確認し、出される場合は宛名などご家族に協力していただき発送している。また、ご本人さんが希望された時や電話がかかってきた時は、何時でも繋げる体制を取っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、台所、トイレは、動きやすい動線になっており、障害にならないようテーブルを配置している。明るさ、温度(湿度)、臭気、清掃等の環境も整備しており、季節感を感じることが出来るよう貼りえや飾り物を取り入れ工夫している。	玄関、廊下、居間、台所、トイレは、動きやすい動線になっており、障害にならないようテーブルを配置している。明るさ、温度(湿度)、臭気、清掃等の環境も整備しており、季節感を感じることが出来るよう貼りえや飾り物を取り入れ工夫している。	共有空間のソファやテーブル等の調度品は家庭的で、利用者に縫ってもらった暖簾を入口に飾るなどのしつらえは居心地よく落ち着ける空間となっている。ストレスとなる音や、臭いは感じられない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはテーブルとソファを2ヶ所設置しており、入居者の方が好きな場所を選んで過ごせるように配慮している。1人で座りゆっくり過ごしたり、気の合った入居者さん同士がソファで座り会話ができる空間になっている。	共有空間にはテーブルとソファを2ヶ所設置しており、入居者の方が好きな場所を選んで過ごせるように配慮している。1人で座りゆっくり過ごしたり、気の合った入居者さん同士がソファで座り会話ができる空間になっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	ご家族に入居前に可能な限り使い 慣れたものや馴染みの物等持って きていただくよう声をかけており、写 真やお気に入りの品、思い出の品 等安心できる居室作りに努めてい る。	ご家族に入居前に可能な限り使い 慣れたものや馴染みの物等持って きていただくよう声をかけており、写 真やお気に入りの品、思い出の品 等安心できる居室作りに努めてい る。	入居時に馴染みのある家具等の持 ち込みをお願いしているが、持参品 は少ない。しかし家族の写真や母の 日や誕生日など記念日の色紙を居 室に飾り自分らしさが感じられる部 屋となるよう職員の配慮がある。湯 呑みやご飯茶碗をそれぞれに持参 されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	園内はバリアフリーで各所に手すり も設置されている。自室やトイレは わかりやすく表示している。ホール にはカレンダーや時計を見やすい位 置に設置し、声をかけ可能な限り自 立した生活ができるように工夫して いる。	園内はバリアフリーで各所に手すり も設置されている。自室やトイレは わかりやすく表示している。ホール にはカレンダーや時計を見やすい位 置に設置し、声をかけ可能な限り自 立した生活ができるように工夫して いる。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない